

【分野別】企業・就労支援機関向け 若年性認知症の人の 支援に関する研修会

定員
60名
無料

若年性認知症は、18から64歳までに発症し、現在の年齢も64歳以下である認知症の総称です。働き盛りの世代で発症するため、仕事や経済状態への不安が深刻な問題となります。本人や家族にとって「働きたい」「生活を維持したい」という思いは切実です。一方で、若年性認知症の就労に対する支援体制は脆弱な部分が多く「働きたい」という思いを支える体制の強化が求められています。

本研修は、若年性認知症の支援について2回シリーズ（医学的知識・分野別）の第2回研修として、支援体制強化に向けて、職場や就労系障がい福祉サービス事業所等で就労支援に携わる方々から就労支援の実状や事例を共有し、若年性認知症の人の「はたらく」を支えるための工夫、必要な連携等について学びます。

日時 **2月17日(火)13:30~16:00** (受付13:15~)

場所 **エル・おおさか 南館10階 南1023**

対象 **人事労務担当者、産業保健スタッフ、若年性認知症の人の就労に関わる機関（ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労系障がい福祉サービス事業所、医療機関）等の職員**

※本研修は2回シリーズ（第1回（共通講義）・第2回（分野別講義））の研修です。
第1回研修を未受講の方も、お申し込みいただけます。詳しくは、裏面をご確認ください。

テーマ **「若年性認知症の人の『はたらく』を支える」**

登壇者 **今井 洋子 氏**
(独立行政法人労働者健康安全機構 大阪ろうさい病院 治療就労両立支援センター)
永田 優馬 氏
(奈良学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)
近藤 永二 氏
(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部 大阪障害者職業センター)
加藤 篤 氏
(就労継続支援B型事業所 ゆずりは作業所)
中牟田 なおみ 氏
(大阪大学医学部附属病院神経科精神科)

申込方法 * 申込締切り：2月6日（金）

大阪府行政オンラインシステム（以下URL「手続き一覧（個人向け）」のサイト内）より「若年性認知症の人の支援に関する研修会」を検索し、
【企業・就労支援機関向け】記載の手続きより、お申し込みいただけます。
* URL:<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/portal/home>

主催：大阪府・大阪大学医学部附属病院神経科精神科



アクセス・お問い合わせ先

会場

エル・おおさか 南館10階 南1023

*住所：大阪市中央区石町2-5-3

アクセス

*天満橋駅（京阪・Osaka Metro谷町線）
より徒歩5分

*北浜駅（京阪・Osaka Metro堺筋線）
より徒歩8分



お問い合わせ先

- ・大阪府行政オンラインシステムについて
大阪府介護支援課認知症・医介連携グループ 06-6944-7098
- ・研修内容について
大阪大学医学部附属病院神経科精神科 06-6879-3051

共通講義のオンデマンド配信について

- ・共通講義「若年性認知症の医学的知識に関する研修会」のオンデマンド配信（Youtubeの限定公開にて実施）を予定しています。
- ・視聴用URLにつきましては、共通講義（12月15日（月））の実施後、配信の準備が完了しましたら、共通講義未受講のお申し込み者あて（お申し込み時にご登録いただいたメールアドレスあて）にお知らせします。
- ・共通講義は、各分野別研修会を受講いただく上での基礎知識となりますので、**未受講の方は、必ず本研修当日までにご視聴ください。**

共通講義「支援に繋げるための若年性認知症の基礎知識」

講師：釜江 和恵 医師

（公益財団法人 浅香山病院 精神科副院長・認知症疾患医療センター長）

若年性認知症は、18～64歳までに発症し、現在の年齢も64歳以下である認知症の総称です。若年性認知症は病気のひとつだと思われることがしばしばありますが、病名ではありません。様々な疾患が原因となっているにもかかわらず、若年性認知症と一括りにされてしまう傾向にあります。

家庭、職場、地域で若年性認知症の方を支援する際は、原因疾患ごとの特徴と支援のポイントを知っておくことが重要となります。

共通講義では、若年性認知症の原因疾患で最も多いアルツハイマー病を中心に疾患への理解を深め、支援に携わる者が知っておきたい対応のポイント等について学びます。

